

届出組織によるテーマ研究・調査活動成果報告書

基本情報

| | | | | |
|---------|------------------------------------|-------------------|--------------|--------------------|
| 案件番号 | S07001 | | 提出日 | 西暦 2008 年 3 月 31 日 |
| 案件名 | ASP-SaaS 型システム普及の研究 | | | |
| 届出組織 | ITC 実務研究会 | URL | www.c303.net | |
| 組織の所在地 | 横浜市戸塚区品濃町 540-6 (株)SK サポートサービス内 | 電話 | 045-826-8600 | |
| 申請代表者名 | 坂下 知司 | ふりかな | さかした さとし | |
| 代表者連絡先 | 電話 | 045-826-8600 | メール | s-saka@skss.jp |
| 研究・調査期間 | 開始 | 予定 2007 年 6 月 1 日 | 終了 | 2008 年 3 月 31 日 |
| 申請書受理 | 日付 | 年月日 | 結果 | |
| 報告書受理 | 日付 | 2008 年 3 月 26 日 | 結果 | 合 |

研究・調査の成果 (必要に応じ枠を広げて構いません。2 ページになっても構いません)

| | |
|--------------|--|
| 成果物名 | ASP-SaaS 研 2007 年度 活動報告書 |
| 成果物の媒体 | 電子媒体で本報告書に添付。また ITC 実務研ホームページに掲載 |
| 概要 (200 字程度) | <p>中小企業が IT 化を進めるには、初期投資が不要で、利用度合いに応じた料金となるサービス型のシステム提供が不可欠といわれる。当研究会では ASP-SaaS 型として市場に提供されているサービス並びに、ASP-SaaS 型のシステム提供を可能とする基盤提供サービスを分析。20 余件の事例として纏めた。</p> <p>また、こうしたサービス商品を中小企業にも「使える IT」とするには、まず、利用者側の視点に立った、サービス商品の情報提供、ITC など第三者による評価が必要との結論を得た。ITC などの手で、パラメタ設定程度のカスタマイズができ、中小企業に使えるまでにサービス商品を進化させれば、中小企業の IT 化は一挙に進むと考えられる。</p> |
| 自己総合評価 | <p>まず情報共有という視点で会員の意見をまとめることができた。</p> <p>70 点</p> |
| 公開先 URL | http://www.c303.net/activity/asp-saas.html |
| 他の ITC への有用性 | 中小企業の IT 経営を指南する立場の ITC のみならず、サービス型のシステムを提供するベンダにも有用な提言となった。 |
| 社会への貢献性の評価 | 中小企業の視点で「使える IT」とは何かを充分考察してきた。「使 |

| | |
|-------------------|--|
| | える IT」の仕組み作りの提言として第一歩となると信じる。 |
| 先進性、独創性の評価 | 日本のネットワーク基盤は欧米を凌ぐ網羅性と高速性が確保された。が、業務システムは先行する欧米型を追いかけているのが現状。サービス型のシステム提供は安定した高速インターネット網が大前提となる。日本の優位性を活かし、これまで遅れを取った中小企業の IT 化を一挙に進める枠組みの提案で、先見性、独創性、現実性(経済効果・負担など)のある提言になったと自負する。 |
| 時期の適切性の評価 | サービス型システムの普及は現在最もホットなテーマである |
| 著作権、特許権等の所在 | 特になし |
| 他の知的財産権侵害のないことの確認 | 研究会資料などの情報提供者には、本報告書への転載の許可を取った。許可の取れないものは転載から外した。 |

以上